

園長先生の子育てひろば

令和8年7月

夏こそ図書館

園長 堀田あけみ

さて、今年も暑い暑い夏の到来です。体温調節が、まだ得意ではない幼児には大きな体感気温の変動は堪えるものです。とはいえ、ずっと家にいたのでは、心身の健康に悪影響なのは大人も子どもも変わりありません。ただ、外で遊ぶには暑すぎる、そんなときに行ける場所は限られているのが、悩みの種ではないかと思います。日陰で水遊びをしようにも、暑すぎる日は、プールにすら入りたくなくなります。ちゃんと暑がったり寒がったりしてくれる子なら良いのですが、体感気温に関わらず、外に出たがる子は、平気そうにしているから、体調も大丈夫かという、ちゃんと不調になってしまうので、保護者が調節する、場合によっては強制的に、は必要です。

老人の場合ですが、意外と良いのがショッピングモールだと言われています。冷房が効いていて、歩き回れば結構な運動量も稼げるんです。これは小さい子どもにも有効そうです。でも、実際に行ってみると、子どもには誘惑が多すぎです。

そんなときの行き先の候補として、図書館はいかがでしょう。

図書館なんて、静かにしないと叱られちゃうところ、とてもうちの子は連れて行けません。静かに絵本を読んでいるタイプではないので。そんなふうにしりごみしてしまうかもしれませんが、今の図書館にキッズスペースは必須です。このところ、各地に新しいタイプの図書館が続々と誕生しており、静かに読書をしたり、調べものをしたりする方を邪魔しない形で、グループワークをしたり、小さいお子さんに読み聞かせをしたりできる設計になっていることが多いのです。

そんな新しい図書館の絵本コーナーは、小さいお子さんと一緒でも、快適に絵本を楽しめる場所になっています。幼児向けの読み聞かせイベントもあったりするので、お近くの、もしくは行きやすい場所（地理的に遠くても、公共交通機関のアクセスが良いとか、駐車場が広くて無料とか、良い条件はケースバイケースですから）の図書館にあるキッズスペースの様子を調べてみてください。本が読めるスペースがあるだけのところもあれば、広めの場所で靴を脱いでくつろげるところもあります。

また、名古屋市図書館（1つではありません。市内のあちこちにある地名のついた図書館は、ほとんどが名古屋市図書館です）では、赤ちゃんの図書館デビューに際して素敵なプレゼントがもらえます。名古屋市在住で、初めて名古屋市図書館共通貸出券を作る赤ちゃんには、司書さんが選んだ絵本がいただけるそうです。対象は2024年4月1日以降に誕生したお子さん。3歳までにお越しく下さい、とのことです。どちらの図書館で実施されているかを確認の上、せっかくの機会ですから、ぜひ。「赤ちゃんへの絵本プレゼント事業」で検索してください。

名古屋市内には丸の内に愛知県図書館もあります。赤ちゃん絵本コーナーがあったり、児童書の蔵書が多かったりと、こちらも子どもと行くには良い図書館です。5階にスガキヤがあるので、子どもを連れての食事にも使えます。ただ、こちらは愛知県の管轄です。絵本のプレゼントはしていませんので、お気をつけて。

この機会に、普段は手にとらないさまざまな本に触れてみるのはいかがでしょうか。お子さんが意外な

本に反応するかもしれません。